

I 学校経営方針 「凜とした学校の共創 =一貫・継続・前向き=」

世の中、物は豊かになり、AI等の普及で一層の希薄な関係性、凶悪事件、災害、感染症などこれまでにない自然災害の増加など、今後も予期しないことが起こるでしょう。

文科省は、このような状況を見据えて、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることを目指しており、本校児童にも、社会人としてたくましく生きぬく力を身に付けさせたいと考えます。

そのためには、まずは我々教師が一貫、継続、前向きに心がけた「凜」とした姿勢で以下5項目に取り組みます。

- 1 教員と児童、児童同士のより良い人間関係の育成に努める。(傾聴、賞賛、共遊)
- 2 学習の振り返りに重視しつつ、基礎・基本の定着を目指した学習指導の徹底を図る。
- 3 基本的な生活習慣、基本的な学習習慣の定着に努める。
- 4 子ども一人一人が、相手を思いやる心を育む教育(自問教育)を推進する。
- 5 保護者との情報共有に心がけ、発達段階に応じた成長を支援する。

II 学校教育目標 「自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成」

【目指す子どもの姿】

徳	やさしさいっぱい	思いやりの心を持ち、実践できる子
知	やる気いっぱい	自ら学び、考える子
体	元気いっぱい	心身ともに健康で、たくましい子

【目指す教師の姿】

- 前向きに取り組む教師
- 寄り添う教師
- 学び続ける教師

Team 長松

【目指す保護者・地域の姿】

- 正義感を導く大人
- 規範意識が高い大人
- 愛情あふれる大人

= 重点目標 =

支持的風土ある 学年・学級づくり

- 支持的風土ある学年・学級経営
- ・UD教育の実施、人権・いじめ防止教育
- ◎仲間づくりの実践
- ・コミュニケーションスキルの実践
- ・交流活動の実践
- ・教師と児童、児童同士を繋げる
- 自尊感情、他尊感情の育成
- ・賞賛、承認、示唆

確かな学力づくり

- 積極的公開授業の実践
- ・学び続ける教師の実践
- ・家庭学習の充実
- ・繰り返しによるスキルアップ
- ◎学力の定着
- ・分かりやすい授業
- ・校内研修の充実
- (見通しをもった計画的授業の実施)

豊かな心づくり

- コミュニケーションの活用
- ・ゴミ拾い活動、にこにこあいさつ運動
- ◎自問教育の推進
- ・自問掃除(玉みがき)、自問学習の習慣化
- 郷土や学校、自分に誇りを持てる子の育成
- ・唐津や長松、自身の魅力発見
- ・あいさつの習慣化(にこにこあいさつ運動)